

生誕100年

松田正平展

陽だまりの色とかたち

MATSUDA Shohei
A Centennial Retrospective



1. 四国犬 1990年頃 個人蔵

2013年

6月8日[土]—9月1日[日]

*会期中、一部展示替えがあります。

神奈川県立近代美術館 鎌倉

The Museum of Modern Art, Kamakura

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53
tel. 0467-22-5000

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

- 休館日：月曜日(ただし7月15日は開館)
- 開館時間：午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料：一般 900円(800円)、20歳未満・学生750円(650円)
65歳以上450円、高校生100円
- * ()内は20名以上の団体料金です。
- * 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
その他の割引につきましてはお問合せください。
- * ファミリー・コミュニケーションの日：
毎月第1日曜日(今回は7月7日、8月4日、9月1日)は、
18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金(65歳以上の方
を除く)でご観覧いただけます。

主催：神奈川県立近代美術館

■お問合せ先

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53
tel. 0467-22-5000 / fax. 0467-23-2464
広報担当：長島、酒井 展覧会担当：橋

『周防灘』シリーズなど、飄々とした画風で多くの人に愛された個性派画家 松田正平

—— 関東圏で初の大規模回顧展

このたび神奈川県立近代美術館 鎌倉では、生誕100年を記念して松田正平の展覧会を開催します。飄々とした画風で多くの人に愛された洋画家・松田正平の、関東では初の大規模な回顧展です。

松田正平は、1913(大正2)年、島根県日原町に生まれ、4歳のころ山口県宇部市の松田家の養子となりました。1932年、浪人の末、東京美術学校西洋画科に入学します。1937年、同校を卒業し、翌年パリに留学してルーヴル美術館で模写に励みます。第二次世界大戦の勃発により1939年、帰国。1941年に国画会に初入選したのち、1994年までほぼ毎年出品します。1947年に初めて宇部市の対岸に浮かぶ祝島を訪れ、松田の名前を世間に知らしめ、生涯のテーマとなった『周防灘』シリーズを制作し始めます。1952年に上京し、いくつか転居したのち、1963年から1995年まで千葉縣市原市に居を構えます。1995年から亡くなる2004年までは、故郷の宇部で暮らしました。その戦後の歩みのなかで、バラや犬や魚など身近なものをテーマに、味わい深い油彩画を描き出しました。

今回の展覧会では、初期から亡くなるまでの作品101点を展示し、この稀代の個性派画家の画業を回顧します。洒脱な中にも厳しさを兼ね備えた詩情豊かな松田正平の世界を心ゆくまでご堪能ください。



2. 眠る人 1963年 周南市美術博物館寄託



3. 笛吹き 1983年 個人蔵



4. おひょう 1984年 山口県立美術館蔵



5. バラ 1983年 学習院女子大学蔵



6. 周防灘(祝島) 1980年 山口県立美術館蔵

< 関連企画 >

- ゲストによるギャラリートーク
6月23日(日) 午後2時から
ゲスト: 原田光氏(岩手県立美術館長)
申込不要、無料(ただし「松田正平展」観覧券が必要です)

- 学芸員によるギャラリートーク
7月6日(土)、8月2日(金) 各日午後2時から
申込不要、無料(ただし「松田正平展」観覧券が必要です)



松田正平 2000年撮影